

令和5年度 京都中小企業技術大賞 表彰式



受賞企業代表者

京都府立府民ホール アルティで、2023(令和5)年11月9日(木)に、京都府と(公財)京都産業21の主催による「令和5年度 京都中小企業技術大賞 表彰式」を開催しました。この賞は、技術開発を通じて京都産業の発展に寄与した中小企業及びその優れた技術者を顕彰するもので、今年で31年目となり、延べ208社・738名を表彰しました。受賞後に上場を果たしたり、他の顕彰制度でも高く評価されている企業も数多く、優秀な技術の発掘という面において大きく貢献しています。

今年度は、技術大賞をカンケンテクノ(株)が、6社が優秀技術賞を、各企業から選ばれた優れた技術者19名が優秀技術者賞をそれぞれ受賞しました。

表彰式では、まず山下晃正京都府副知事が挨拶。「現在の企業経営は、前進する努力無くしてはそのポジションに留まることすら困難な状況にあり、京都の企業は前進し続ける努力を懸命にされている。今回の受賞はそういった努力の他、マーケット情報を取り入れ、外部とのオープンイノベーションに取り組まれた結果であろうと思う。また古くからある製品・技術について創意工夫・改善をすることで新たな価値を生み出し社会的評価を得ている技術・製品を表彰するべく今回『伝統産業部門』を設立した」と受賞企業を讃えました。次いで、当財団上田輝久理事長は、「京都の企業は、伝統産業の匠の技や大学との連携など地域の資産と融合しながら、絶えざる技術革新により発展してきた。持続的な成長のために、技術革新が重要であり、財団としても、引き続き多様なプログラムで支援していく。このたびの受賞製品・技術の開発に携わられた皆様に対して深く敬意を表し、この賞が更なる新製品・新技術開発、ひいては京都と日本の成長と発展に資することを期待する」とさらなる企業成長に期待の言葉を寄せました。

表彰に続いて、松原 厚技術顕彰委員会委員長が審議経過を報告。「カンケンテクノ株式会社様の『電気式排ガス処理装置』は電子産業で使用される可燃性有害ガスの分解を大幅に省エネルギー化するもので、温室効果ガス排出量も大幅に削減されています」と講評しました。その後、受賞企業7社による受賞技術・製品のプレゼンテーションが実施され、来賓の方々をはじめ来場者は熱心に聞き入っておられました。



山下京都府副知事



上田京都産業21理事長

技術大賞受賞企業のコメント

カンケンテクノ株式会社 代表取締役社長 今村 浩一 氏

当社は、1978(昭和53)年の創業以来、製造過程で排出される有害ガスや地球温暖化ガスを浄化し無害化する装置を開発し、これまで世界に提供してきました。今回、当社が開発した電気式排ガス処理装置は、半導体製造などで使用される可燃性の有害ガスを省エネルギーで分解する製品です。これまで可燃性ガスの処理には、爆発を防ぐために大量の希釈用窒素ガスを使用し、爆発下限界を下回る濃度にまで薄める必要がありました。しかし、当社は装置内の圧力を大気圧の約1/10にまで減圧することにより、希釈用窒素ガスを不要にし、大幅な省エネとランニングコストの削減を実現しました。この装置の開発には、「爆発を防ぐための窒素ガスを不要にする」という発想があり、高い安全性と安定性を確保するまでには多くの苦勞が伴いました。何度も試作・試験・改良を繰り返し、構想から4年近くの年月をかけて、お客様に納品する段階に至りました。

私が代表取締役社長に就任した2023年(令和5)年に、このような栄誉ある賞を初めて受賞し、表彰状と盾を受け取った瞬間、大きな感動を覚えました。特に、開発・製造に携わった技術者たちの「技術」が高く評価され、喜びもひとしおです。技術は日進月歩であり、これをバネにして今後も常に新しい開発に挑戦し、業界の先頭を走り続けなければならないと気持ちを新たにしています。



カンケンテクノ株式会社 代表取締役社長 今村 浩一氏



カンケンテクノ株式会社 受賞の様子



カンケンテクノ株式会社 パネル展示の様子

令和5年度 京都中小企業技術大賞等受賞企業および優秀技術者賞受賞者

◆京都中小企業技術大賞(1社)

電気式排ガス処理装置	カンケンテクノ株式会社(長岡京市)	代表取締役社長 今村 浩一
------------	-------------------	---------------

◆京都中小企業優秀技術賞(6社)

(50音順)

液体含浸軟質シリコン成型技術	有限会社岩本製作所(京田辺市)	代表取締役 岩本 俊樹
AI搭載高速外観検査装置 AIガラミちゃん	株式会社オービット(京都市南区)	代表取締役社長 山田 宏和
スライスようかん	亀屋良長株式会社*(京都市下京区)	八代目当主 代表取締役 吉村 良和
黒をより黒くする加工技術	株式会社京都紋付(京都市中京区)	代表取締役社長 荒川 徹
デジタルエリアカウンター DAC	株式会社光伸舎(京都市南区)	代表取締役 粉川 尚子
液晶ディスプレイが透過できる次世代印刷技術 ガラリット	中沼アートスクリーン株式会社(京都市右京区)	代表取締役社長 中沼 崇

※伝統産業部門

◆京都中小企業優秀技術者賞(19名)

- カンケンテクノ(株)：森原 淳、柳澤 道彦、宮前 智信、久住 有加、半埜 武
- (有)岩本製作所：岩本 俊樹、白崎 幸雄、長井 北斗
- (株)オービット：別役 洋彦、松井 一馬
- 亀屋良長(株)：吉村 由依子、鎌田 泰光
- (株)京都紋付：小佐見 託史
- (株)光伸舎：白川 光英、鹿野 慧一、朝原 賢治、一澤 壇、伊井 健一郎
- 中沼アートスクリーン(株)：倉橋 正人



(敬称略、順不同)

受賞企業によるプレゼンの様子



優秀技術者賞受賞者のみなさま



パネル展示の様子

●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 京都経済センター支所 人財・技術振興グループ TEL:075-708-3066 E-mail:kensho@ki21.jp



人と科学の 「未来を拓く」。

1979年の設立以来、半導体と材料の研究開発で最先端の薄膜技術を培ってきました。エレクトロニクス分野だけでなく、ライフサイエンス分野でも活かされています。これからも、薄膜技術のバイオニアとして世界の産業科学の未来を拓きます。

SAMCO
PARTNERS IN PROGRESS

サムコ株式会社
www.samco.co.jp